

第172号

平成29年 1月27日

# 一般社団法人 大阪市学校歯科医会報



In Peru (ペルー) 新世紀美術協会会員・日本美術家連盟会員 西川 肇

## 目 次

会長挨拶	3
第6回 歯・口の健康づくり研修会	4
第6回 歯・口の健康づくり研修会に参加して	6
平成28年度 第2回 支部長会	8
第40回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会	9
平成28年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会	11
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール	13
平成28年度 全国学校保健・安全研究大会 第66回 全国学校歯科医協議会	15
平成28年度 全国学校保健・安全研究大会に参加して	16
第66回 全国学校歯科医協議会に参加して	17
第80回 全国学校歯科保健研究大会	18
第80回 全国学校歯科保健研究大会に参加して	19
平成28年度 学校歯科保健連絡協議会	21
平成28年度 大阪二学歯連絡協議会	22
平成28年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会	23
「子どもの歯を守る懇談会」の講師を担当して【座談会】	24
新支部長就任挨拶	29
大阪ビジネスフロンティア高等学校 文部科学大臣表彰受賞	30
平成27年度 年間活動報告書の記載内容	31
平成28年度 慶びに輝く先生方 / お知らせ	32
会務報告	33
学校歯科保健教材器具貸出 申込書	
市学歯ホームページ更新情報 / 編集後記	

表紙の題字 渚 紀代司 前副会長

## 会長挨拶



一般社団法人大阪市学校歯科医会 会長 岡本 卓士

一年間でも一番寒い時期を迎えておりますが会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。日頃は学校歯科保健の活動や大阪市学校歯科医会の事業にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年的一年間でございますが、学校歯科保健の事業を順調に運営することができましたのも、会員の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、平成24年に天王寺商業高校、東商業高校、市岡商業高校の3つの商業高校が統合されて新しいタイプのビジネスの高校として開校された大阪市立大阪ビジネスフロンティア高校でございますが、去年の10月16日に東京のシビックホールで開催されました第80回全国学校歯科保健研究大会におきまして、全日本学校歯科保健優良校表彰の高校部門で文部科学大臣表彰を受賞することができました。9月13日に日学歯から2名の理事による実地調査が行われ、その審査結果に合格しての栄えある今回の受賞となりました。

この学校はNHKの去年の朝ドラの「あさが来た」でブレイクしたディーン・フジオカが演じて著名になった五代友厚が創立した天王寺商業高校の跡地に、新しい校舎が建設されていますが、校医で市学歯の監事を務められている曾我時雄先生が年間21回も学校で執務され、さらに2人の養護教諭によるきめの細かい工夫をこらした保健指導も評価されての受賞になったと思われます。市学歯の永い歴史の中でも高等学校が文部科学大臣表彰を受賞するのは初めてでございます。平成28年の市学歯の行事の中でも一番うれしい出来事であったと思ひます。

また、今年5月21日（日）に堺市で第68回指定都市学校保健協議会が開催されます。堺市が政令指定都市になって11年目を迎えますが、初めて全国から学校保健関係者が集まる全国規模の協議会が堺の地で開催されます。午前は開会式、全体協議会、記念講演が行われ、午後からは課題別協議会が第1～4分科会に分かれて開催されます。この分科会では全国20の指定都市の学校関係代表者から健康教育、健康管理、心の健康、地域保健について具体的な学校保健活動内容が報告され、それに対しての活発な質疑応答も展開されます。これらの協議会で交わされる学校現場の情報は、必ずや先生方の日頃の学校歯科保健活動にお役に立つ内容であると確信しております。大阪市の隣の堺市という地の利も良く、大阪府でこの協議会が開催されますのは、大阪市が主催した平成22年以来7年振りになりますので、是非ご参加されることをお勧めいたします。

平成24年に会長に就任して以来、3期目の執行部の任期も今年の6月30日までの後5カ月となりました。在任中は大阪市の学校歯科保健の事業内容を益々充実させて行きたいと考えておりますので、会員の皆様の尚一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ◆ 第6回 歯・口の健康づくり研修会 ◆

大阪市の養護教員の先生方を対象にした第6回歯・口の健康づくり研修会が、夏休み中の8月18日に大阪府歯科医師会館の大ホールで開催されました。当日は37度の猛暑にもかかわらず126名の先生方が参加して下さり、実習器具の使用説明などの1時間の講演の後、9つのテーブルクリニックのコーナーで数多くの実習を体験していただきました。2年前にも同じ形式の研修会を開催しましたが、今回は幼稚園と小学校の先生方にも参加していただき、経口補水液の作成や口唇圧測定などの新しい実習も追加して、盛り沢山の研修内容を最後まで熱心に受講していただきました。

体験学習で使用した実習記録記入用紙などの当日資料をホームページに掲載しておりますのでご活用下さい。

日 時 平成28年8月18日（木） 午後2時～5時

場 所 大阪府歯科医師会館 大ホール

主 催 一般社団法人大阪市学校歯科医会・大阪市教育委員会

参 加 者 大阪市立学校園の養護教員

※ 幼稚園：15名、小学校：76名、中学校：29名、高等学校：6名の先生方が受講されました。

インストラクター 大阪市学校歯科医会 役員・学術部員 26名

スタッフ 大阪市教育委員会・大阪府歯科衛生士会・ライオン・サンスターの歯科衛生士 7名

研修内容

①歯・口の健康づくりのこれまでの保健指導内容と今後の実施内容について

会 長 岡 本 卓 士

②本日の学校歯科体験学習の指導内容の説明

常務理事 林 昭 典・学術部員 豊 田 裕 章



### ③テーブルクリニック形式の体験学習

#### A-1 コーナー スポーツドリンクのpH値と糖度の測定

- ・清涼飲料水のpHと糖度を測定して、ペットボトル（500ml）内のスティックシュガーの本数に換算する。
- ・口腔内pHをリトマス試験紙で測定し、その後ポカリスエットを飲用後、再度口腔内pHを測定し、その変化を観察する。

#### A-2 コーナー 経口補水液作製実習

- ・500mlのミネラルウォーターにブドウ糖10gと食塩1.5gを入れてレモン水数滴を混ぜて経口補水液を作成し、味を確かめる。

#### B-1 コーナー かみかみセンサーによる咀嚼回数の計測

- ・食材の普段の咀嚼回数を計測し、30回噛んだ時との比較を行う。

#### B-2 コーナー 咬合力計と咀嚼力判定ガムによる咀嚼の測定

- ・咬合力計で左右の第一大臼歯と前歯部の咀嚼力を計測する。
- ・咀嚼力判定ガムを10回、30回、60回噛んだ時の色の変化を観察する。

#### C-1 コーナー 歯みがき圧測定と歯みがき集団指導

- ・歯みがき圧測定器で普段の歯みがき圧を測定して、適正圧の150gを体験する。
- ・歯みがきじょーずくんや顎模型などの教材を使っての集団歯みがき指導を体験する。

#### C-2 コーナー りっぷるくんによる口唇圧測定とあいうべ体操

- ・りっぷるボタンを装着して口唇圧を測定する。
- ・口唇閉鎖力や口呼吸を改善するあいうべ体操の説明を受ける。

#### D コーナー 歯垢染色による個別指導

- ・自分の歯の歯垢染色によって、個別指導の方法を習得する。
- ・デンタルフロスの使用方法やフッ化物入り歯みがき剤の使用方法を習得する。

#### E-1 コーナー 位相差顕微鏡による口腔内細菌観察

- ・自分の歯垢を採取して位相差顕微鏡によって、モニターで口腔内細菌を観察する。

#### E-2 コーナー フッ化物のたまご実験とフッ化物洗口によるフッ化物予防

- ・フッ化物塗布用のフッ化剤、医薬部外品の歯みがき剤、化粧品の歯みがき剤の3種類の歯みがきを塗ったタマゴを酢につけて、歯みがき剤を塗っていない面との泡の出方を観察する。
- ・フッ化物洗口剤10ccで30秒間含みうがいをして、フッ化物洗口を体験する。

**体験学習** 各班は1コーナーで2班に分かれて、2つの実習を20分間で体験し、下記の

**進行順** 順番で各コーナーを回り、全部の実習を修得する。

A-1班・A-2班：A→B→C→D→E

B-1班・B-2班：B→C→D→E→A

C-1班・C-2班：C→D→E→A→B

D-1班・D-2班：D→E→A→B→C

E-1班・E-2班：E→A→B→C→D

## 第6回 歯・口の健康づくり研修会に参加して

牧野 喜代

(天王寺小学校 養護教諭)

第6回「歯・口の健康づくり研修会」の体験学習を楽しみに、参加させていただきました。

まず、研修会資料を丁寧に解説していただいたことで、スムーズに体験学習に参加することができました。その中で、特に印象に残った学習は、スポーツドリンクのpH値と糖度の測定・経口補水液作製実習コーナーです。

昨今、熱中症対策として、スポーツドリンクが有用であるという宣伝が多くされていますが、市販されているスポーツドリンクは、糖度が高く、飲用後の口腔内のpHがむし菌のできやすい状態になることがわかりました。また、スポーツドリンクでは、脱水症対策にはならないことも学びました。経口補水液の作り方を教えていただいたことを、児童の健康管理に役立てていきたいと思っています。

次に、位相差顕微鏡の細菌観察・フッ化物のたまご実験コーナーが印象に残っています。たまごの表面に半分だけフッ化物を塗布し、酢につけると、フッ

化物を塗布した側は、変化がみられませんが、塗布してない側は、たまごの殻から泡が吹き出してきました。酸が付着することで、歯の表面からカルシウムが溶ける様子が再現されていて、フッ化物のむし菌予防効果が理解できました。この実験は、児童保健委員会の活動にも活用できます。ぜひ、参考にさせていただきます。

学校歯科医の西本先生が、位相差顕微鏡を歯科検診の際に持ってきてくださったことがありました。児童と共に、口腔内細菌を実際に見て驚き、歯みがきの大切さを学習しました。今後も、機会を設け、保健指導に活用したいと思います。

今回の研修会は、児童と共にできる実験が多くあり、とても勉強になりました。今後も学校歯科医と連携し、児童の健康管理・保持増進に努めたいと思います。

多種の体験学習をありがとうございました。

谷口 仁美

(鯉江小学校 養護教諭)

今回、「歯・口の健康づくり研修会」に参加させていただき、テーブルクリニックにおいて、糖度や咀嚼回数、咬合力、pH値、を測定する等の体験をすることができました。養護教諭自身も数値の結果が出るまでドキドキしたり、その結果に驚いたりと楽しく実験をすることができました。また、それぞれの実験器具を理解し、発達段階に応じた活用を考える良い機会となりました。実際に測定したり数値で比較したりと、自分の体で体感することは、子どもたちにとっても、多くの気づきや学びにつながると思います。子どもたちが健康について考える機会を大切にしていきたいと改めて感じました。

今年度、児童保健委員会では「歯の健康について考えよう」をテーマに取り組みをすすめてきました。12月には、今回の研修会がきっかけとなり、歯科保健実験を盛り込んだ学校保健委員会を開催します。かみかみセンサーや咀嚼力判定ガムを用いて、楽しく、児童や保護者が、「噛むこと」について考えられるよう、すすめていきたいと考えています。

今後も、学校歯科医の西川先生をはじめ、家庭や地域とも連携し、子どもたちの歯と口の健康を推進していけるように取り組んでいきたいと思っています。学びの多い研修会となりました。ありがとうございました。

## 第6回 歯・口の健康づくり研修会に参加して

小山 悠乃

(菫中学校 養護教諭)

「歯・口の健康づくり」研修会は、とても充実した内容で、実践に繋がるものばかりでした。テーブルクリニック形式での実習では、様々な体験コーナーが準備されており、初めて使う器具や、実際にそれらを使ってみることで、自分自身の普段の食事のとり方や歯みがきの改善点に気づけたりと、新しい発見がたくさんありました。

位相差顕微鏡では、歯垢中の口腔内細菌を観察することができ、その多さにも驚きました。咀嚼回数測定器、咬合力を測定する咬合力計、口唇圧測定器、これらの器具を使用し、数値化することで、客観的に見ることができました。歯ブラシ圧の測定では、普段の歯みがき方の圧が弱かったり、歯垢染色液では、みがいているつもりでも歯のみがき残しや、みがきにくい箇所がよくわかり、自分自身の振り返りにもなりました。

特に、飲み物のpHと糖度を知る測定では、清涼飲料水の中でも健康に良いと思われやすい野菜ジュースの糖度が、炭酸飲料と同じくらいだったことに驚きました。また、経口補水液の作り方も、とても参考になりました。

生徒目線での実習を体感し、改めて健康の大切さを知り、実践することで、子どもたちへもしっかり伝えることができるのではないかと思います。今回の研修で学んだことを参考に、子どもたちが歯・口の健康への正しい知識を身に付け、健康の大切さに気づき、生涯にわたって日常生活において、自ら健康管理を行い、健康寿命へと繋がる保健指導ができればと思います。

貴重な資料や参考となる書籍の紹介、実習等、研修の場を準備して頂き、本当にありがとうございました。

立花 美香

(西高等学校 養護教諭)

学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令(H26文部科学省令第21号)が公布され、児童生徒に係る改正規定等については、この4月1日から施行されることになり、大きく内容が改正されました。歯科の分野におきましても、CO・GOにおける観察と対応については、地域の医療機関(かかりつけ医)による継続的な管理や、フッ化物の歯面塗布などの予防処置によって、歯面の抵抗性を高めることがより一層推奨されると「学校歯科医の活動指針」一般社団法人 日本学校歯科医会(H27.3月改訂版)に明記されています。

さて前置きが大変長くなりましたが、8月18日、私は「学校保健委員会のネタ探し」が目的で、この研修会に参加しました。

実習の前に岡本会長によるご講義があり、その中で3つのことが心に残りました。

1つ目は、これまでのCOへの対応は、学校医を中心とした健康リスクに繋がる生活習慣を見直す「個別指導」や「健康観察」とどまっていました。しかし、「CO要相談」を導入して、個々の子どもの生涯を見据えた保健教育を地域医療(かかりつけ医など)と連携し、全人的に行うことを一層明確にしたというところです。

2つ目は、学校歯科保健に対する意識や地域の学校保健の向上は、校長はじめ養護教諭等教職員の「理解(正しい認識)」「実践(取り組み意欲)」「指導力(リーダーシップ)」などが決め手になる、というところでした。

3つ目は、スポーツドリンクでは脱水症対策にはならず(補水に不向き)あくまで嗜好品に過ぎないということ。脱水とはどんな状態を指すのか、スポーツドリンクと経口補水液は違うということ、保健だより等を通して、広く且つ科学的に発信していく責任があると改めて感じました。

実習では「位相差顕微鏡」による口腔内細菌の観察をし、「咬合力計」で左右・前と奥の咬合力の違いを体感しました。「お口の万歩計」使用後は、感じたことを文字することでさらに実感、「口唇圧測定器」による口唇閉鎖不全の検査では、様々な生活習慣病の予防に繋げる契機の一つになることを知りました。その他、飲み物のpHや糖度を知る実験、ガムを噛み咀嚼力を知る実験などは、高校生にもきっと強いインパクトを与えることでしょう。

「見て感じて仲間と共有する、そして一人ひとりが広げる人になる」そんなプラスの連鎖・響き合いを今後も願ってやみません。どうかこの研修会を今後も続けて頂きますよう、お願い致します。

# — 平成28年度 第2回 支部長会 —

日 時 平成28年10月15日（土） 午後1時30分～3時

場 所 大阪府歯科医師会館 第6会議室

開会のことば

会 長 挨拶

会 務 報 告 （3月13日～6月17日）

報 告 事 項

副 会 長 西 川 肇

会 長 岡 本 卓 士

専務理事 西 本 達 哉

1. 平成28年度通常総会

専務理事 西 本 達 哉

2. 日本学校歯科医会 第90回定時総会

副 会 長 西 川 肇

3. 第6回歯・口の健康づくり研修会

会 長 岡 本 卓 士

4. 学校歯科保健連絡協議会

副 会 長 井 手 成 信

5. 大阪市学校保健会 常任理事・理事会／定時総会

副 会 長 長 崎 三 男

6. 第40回近畿北陸地区学校歯科医会（学校歯科部）連絡協議会

副 会 長 西 川 肇

7. 歯科保健事業打合せ会議

常務理事 林 昭 典

8. 第38回近畿学校保健連絡協議会

理 事 上 田 裕 彦

9. 大阪府学校歯科連合会

副 会 長 井 手 成 信

10. 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール審査会並びに展示

常務理事 美 島 達 平

11. 子どもの歯を守る懇談会の開催について

常務理事 林 昭 典

12. 平成28年度幼稚園歯みがき指導実施状況

常務理事 羽 生 卓 也

13. 全日本学校歯科保健優良校表彰校の選考結果について

専務理事 西 本 達 哉

14. 会員研修会の開催について

常務理事 林 昭 典

15. 平成28年度大阪市学校歯科保健研究大会 開催について

常務理事 川 上 力

16. 市学歯 会報 第172号掲載内容について

常務理事 美 島 達 平

17. 平成27年度年間活動報告書に記載された市学歯の事業への要望や意見

常務理事 羽 生 卓 也

18. 平成29・30年度推進事業の実施地区について

会 長 岡 本 卓 士

19. 検診未受診の児童生徒への再検診について

会 長 岡 本 卓 士

20. 検診時の写真撮影禁止などプライバシーの保護について

会 長 岡 本 卓 士

※第6回歯・口の健康づくり研修会風景と大阪ビジネスフロンティア高等学校 文部科学大臣表彰実地調査の様子をスライドで紹介されました。

閉会のことば

副 会 長 井 手 成 信

※終了後 同会場にてフッ化物洗口に関する指導者講習会が開催されました。

# — 第40回 近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会 —

平成28年度の近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会は滋賀県歯科医師会の主催で天津市にて開催されました。3つの協議題と18もの情報交換が提出されて2時間半の間にそれらに対する活発な協議が交わされました。

日学歯からは丸山会長・藤居専務・添田常務が参加され、それぞれの協議題に対して日学歯の方針のコメントを頂きました。特に、現在問題になっている生涯研修制度の基礎研修会の更新は、丸山会長から「更新研修という時間短縮された基礎研修を準備している」との情報を頂きました。大阪市から提出した協議題は西本専務理事や林常務理事が主旨説明をおこないましたが、それに対して他団体から貴重な数多くの意見を頂きました。



日時 平成28年8月27日(土) 午後1時30分より  
場所 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海  
日程

1. 開会の辞
2. 当番県挨拶 滋賀県歯科医師会 会長 芦田 欣一
3. 来賓挨拶 日本学校歯科医会 会長 丸山 進一郎  
滋賀県教育委員会 教育次長 岩谷 斉

4. 来賓紹介
5. 出席者紹介
6. 座長選出
7. 協議

## 〔大阪市学校歯科医会からの協議題〕

C O要相談導入における通知方法とかかりつけ歯科医との関係強化について

## 【他団体からの回答】

### ① 日本学校歯科医会

学校での健康診断とは、学校教育に基づくもので医療における健康診断とは別物である。かかりつけ歯科医機能強化型診療所は、医療の話になるので、学校歯科医関係者としては線引きをしてもらいたい。学校での健康診断は、子どもたちに自分の問題を理解してもらうために、それを見つけてあげることが目的であって、その子の問題・課題がその場で発見されたならば、学校歯科健康教育の中で理解し、自分で改善していく力を身につけていく為の教材であるべきである。実はこのことは国民にも理解されていない。文科省もそういうことを国民にPRしてこなかった。日学歯も国民に学校歯科検診は、かかりつけ歯科医の検診とは別物であることを理解してもらうようにする。

### ② 京都府歯科医師会

学校歯科健康診断は、あくまでもスクリーニングであることを会員に周知し、毅然とした態度で健康診断を行うよう指導している。保護者にはかかりつけ歯科医にもう一度健康診断をしてもらうよう指導している。

### ③ 石川県歯科医師会

平成28年度の健康診断の改訂について、全会員に周知した。今のところ保護者から

のクレームもないので、健康診断の確実な実施を心がけている。

#### ④ 和歌山県歯科医師会

県歯科医師会会員のほとんどが、県学校歯科医会に所属している。従って、学校歯科医でない会員も積極的に基礎研修会に参加している。学校側とかかりつけ歯科医との連携が十分になされている。C e に関しても、県歯の保険部の「か強診」の施設規準達成を勧める中で、学校歯科医会との連携を取りながら話をしている現状である。

#### ⑤ 福井県歯科医師会

福井県も学校歯科医は、ほぼ全員が歯科医師会会員である。各歯科医師会では、C O 要相談も含めて会員の学校歯科医に研修を行っている。養護教諭については、新規の養護教諭と各地区のリーダーの養護教諭に対して、北陸3県の研究大会において3回にわたり、学校歯科部が学校歯科健康診断について研修を行った。

#### ⑥ 奈良県歯科医師会

今年3月にC Oに関する講習を行い、県歯ホームページにも掲載して全会員に周知を行った。しかし、健康診断結果を見てもばらつきがある。事後措置でもC Oを理解できていないかかりつけ歯科医もいる。フッ化物塗布すべきケースでも、保険請求が複雑になっているように思われる。

#### ⑦ 兵庫県歯科医師会

今回の改訂に伴って、郡市区担当者会議と基礎研修の中で研修会を行った。その担当者会議では「C O要相談で開業医へ子どもたちが事後措置の用紙を持って来院する場合はよろしくお願ひしたい」と伝えたところ、「保険請求はどうすれば良いのか分からないというクレームが会員から出る可能性がある」という意見があった。説明し、協力要請したので今のところクレームは無い。

#### ⑧ 富山県歯科医師会

郡市の会長向けの研修をし、個々に説明をした。学校歯科検診と健康保険処置のルールは違うが、今のところトラブルは無く、何か起こったら対応していくつもりである。

#### ⑨ 滋賀県歯科医師会

C Oは子どもが見ても分かりにくいし、事後措置で二次健康診断をするのが大事であるが、滋賀県の現状ではその時間もなく学校側もそれを望んでいない。C Oを放置すると危険であるので、かかりつけ歯科医にはCの疑いがあれば、レントゲン検査を行い、それで何も無ければブラッシング指導をするようお願いし、事後措置を任せている。

### 8. 情報交換

#### 〔大阪市学校歯科医会から提出した情報交換〕

検診時のダブルミラー使用状況や照明設備・記録者について

#### 【他団体からの回答】

##### ① 大阪府学校歯科医会

加盟団体にアンケート調査したところ、31団体から回答があり、ダブルミラーで検診をしているのが21団体で75%の市町村が、照明については2団体がLEDに移行している結果であった。

### 9. その他

#### 10. 次期当番県挨拶

京都府歯科医師会 理事 小川 喜生

#### 11. 閉会の辞

#### 【懇親会】

近畿北陸地区の歯科医師会役員連絡協議会との合同懇親会は、協議会終了後の午後4時10分から開催されました。太田 謙司会長を始めとする大阪府歯科医師会の理事の先生方や、他府県の歯科医師会の役員と交流を持つことができました。

## ◆ 平成28年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会 ◆

平成28年度の会員研修会は12月3日（土）午後3時から、大阪歯科大学附属病院の臨床講義室で口腔衛生学の三宅達郎教授の講演会を開催いたしました。三宅教授は平成27年8月に主任教授になられたばかりの新進気鋭の研究者で、歯科口腔衛生の最新情報を学校歯科保健に関連させて講演をしていただきました。これらは大変に有意義な内容で、大阪市学校歯科医会の歯科保健のこれからの方向性を示してくださったと思われまます。



この講演の録画や配布資料は市学歯ホームページに掲載しておりますので、会員研修会に参加されなかった先生方も是非閲覧されて参考にされるようお願い申し上げます。

**日 時** 平成28年12月3日（土） 午後3時～午後5時  
**場 所** 大阪歯科大学附属病院 西館 5階 臨床講義室  
**講 師** 大阪歯科大学 口腔衛生学 主任教授 三宅達郎  
**演 題** 歯科口腔衛生の最新情報について  
**講演内容**

### 【1】わが国の口腔保健・歯科医療の統計結果

- ・ 1歳6か月児歯科健康調査
- ・ 3歳児歯科健康調査
- ・ 学校歯科保健統計調査（幼稚園～高等学校）
- ・ 8020達成者は現在40.2%で5人に2人が達成している。
- ・ う蝕が減少して8020達成者が増加したが、この状況を生み出した主役は学校歯科保健である。

### 【2】今後のライフコースアプローチ

- ・ 慢性疾患予防には人生の早期からライフコースを通じたアプローチが有効である。
- ・ 学童期から慢性疾患へのアプローチは効果的で、成人からのアプローチは伸びしろがない。
- ・ 食べ方と口腔機能向上を目指すべきである。早食いと肥満度や食品の硬さと腹囲の関連性や、グミゼリーや咀嚼力ガムによる咀嚼能力評価の説明。

### 【3】学校歯科保健の実際

- 1) 質問紙作成法の実際
  - ・ 保健調査票の作り方と保健調査の作成は学校歯科医主導で行うべきである。
  - ・ 調査票の作り方の注意点
  - ・ ワーディング（言葉遣い・言い回しの事）の注意事項
  - ・ 調査項目の注意事項
- 2) COの判定

- ・初期う蝕とは予防処置で回復する脱灰のこと
- ・初期う蝕とC Oの違いについて  
C Oの方が範囲が広い。
- ・初期う蝕検出機器について  
ブルーライトがあれば簡易に検出できる。
- ・初期う蝕検出の視診での注意点
- ・歯面別I C D A S う蝕コードの分布
- ・学年別1年間の初期う蝕活動性
- ・スクリーニング検査について  
どこで区切っても矛盾が出る。トラブルの起こりにくい診査についての説明。
- ・C Oについては対象歯を絞り、C O要相談を活用するのが大事。

### 3) フッ化物応用

- ・フッ化物のう蝕予防メカニズムについて  
低濃度のフッ素イオンを常に歯の周囲に存在させるのが大事である。
- ・フッ化物洗口方法
- ・処方箋のいらない洗口液、O T C医薬品の洗口液、処方箋の必要な洗口液
- ・フッ化物配合歯みがき剤をできるだけFを口腔内に残留させる方法
- ・フッ化物配合歯みがき剤使用の具体的な指導内容
- ・フッ化物歯面塗布処置について
- ・エナメル質初期う蝕管理加算について

### 【4】エビデンスに基づいた学校保健活動を目指して

- ・臨床的な判断基準と心理的直観・近道思考について
- ・E B Mとは、信頼に耐える臨床研究データに基づいた医療のこと
- ・学校歯科医は確かさを求められている。証拠に基づいた学校歯科保健活動。
- ・学校保健への適用性判断
- ・E B Mの手法
- ・信頼に耐える臨床研究・疫学データ（証拠）をまとめ、吟味したコクランライブラリーを活用する。その具体例を5つ説明。
- ・疫学のエビデンスレベルは松・竹・梅に分けられる。確からしいという松は80%、ありそうなの竹は60%、そうかもしれないの梅は30%である。

平成28年度から判定基準が改訂されて、C O要相談が導入されたC Oについては初期う蝕との違いを明確に示されて、大変分かりやすい解説をして頂きました。またフッ化物応用によるう蝕予防効果はエビデンスが一番高く、特にフッ化物洗口は低濃度のフッ素を常に歯の周囲の環境に維持できる予防処置であると結論されました。学校歯科医は確かさを求められていますので、証拠に基づいた学校保健活動をするのが大切で、そのためにはエビデンスの蓄積が重要であると確信した研修会となりました。

## ■ 歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語 コンクール ■

平成28年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語コンクール」審査会を下記の日程で行いました。

日時：平成28年9月15日（木） 午後2時

場所：大阪市役所 地下1階 第7会議室

出席者：一般社団法人大阪市学校歯科医会

大阪市教育委員会事務局 指導部 初等教育担当・中学校教育担当

教務部 学校保健担当

### ● 図画・ポスター

応募枚数468枚(幼稚園：5枚、小学校：394枚、中学校：69枚)より入賞作品48枚(幼稚園：2枚、小学校：32枚、中学校：14枚)を選出しました。入賞作品のうち、小学校低学年、小学校高学年、中学校から最も優れた作品3点を選出し、一般社団法人日本学校歯科医会主催の中央審査会に大阪市の代表として送付しました。次に優れた作品3点を大阪市学校歯科医会会長賞とし、応募者全員に参加賞を贈呈しました。

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕

小学校（低学年の部）			
敷津浦小学校	2年生	かわばた ななえ	川端 七枝
小学校（高学年の部）			
五条小学校	5年生	ながの はるき	長野 遥生
中学校			
城東中学校	2年生	まるやま なつき	丸山 夏綺

〔大阪市学校歯科医会会長賞〕

小学校（低学年の部）			
聖賢小学校	2年生	いまむら れいな	今村 玲菜
小学校（高学年の部）			
聖賢小学校	4年生	そが りん	曾我 綸
中学校			
鯉江中学校	3年生	やまもと あき	山本 愛希

### ● 標語

応募総数91点（小学校：46点、中学校：45点）のうち、次の1点を日本学校歯科医会への推薦作品として選出しました。

『白い歯と 君の笑顔が 光りだす』

港南中学校 1年生 河野 未有こうの みゆう

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪市学校歯科医会ホームページで紹介するとともに、入賞作品を含めて下記の要項で展示しました。

展示期間：平成28年10月21日（金）

～ 11月16日（水）

展示場所：大阪市立中央図書館

エントランスギャラリー

〔日本学校歯科医会への推薦作品〕



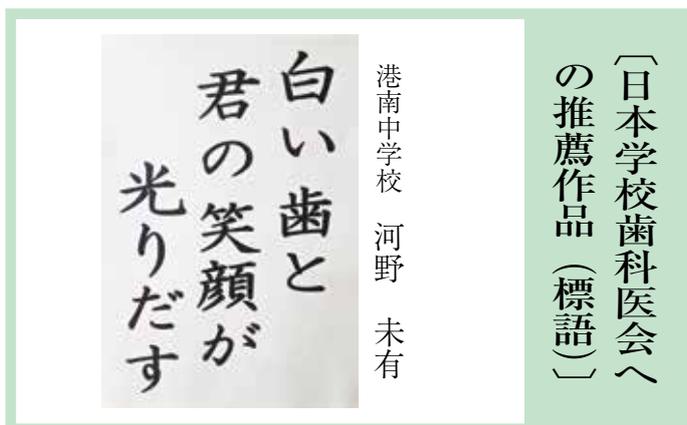
敷津浦小学校 川端 七枝



五条小学校 長野 遥生



城東中学校 丸山 夏綺



港南中学校 河野 未有

〔日本学校歯科医会への推薦作品(標語)〕

〔大阪市学校歯科医会 会長賞〕



聖賢小学校 今村 玲菜



聖賢小学校 曾我 綸



鯉江中学校 山本 愛希

# 平成28年度 全国学校保健・安全研究大会 第66回 全国学校歯科医協議会

平成28年度 全国学校保健・安全研究大会

日 時 平成28年10月27日（木）・28日（金）

場 所 北海道札幌市 札幌コンベンションセンター

(1) 全体会

開 会 式

表 彰 式 ※「学校保健・学校安全の功労者」に対する文部科学大臣表彰が行なわれました  
大阪市からは学校薬剤師森麻子氏とみどり小学校宮前慎一校長が受賞されました。



記念講演 「子どもたちの学校生活を護るための校内連携と他職種連携」  
～ 発達障害、被虐待経験をもつ子どもたちを中心に ～

こころとそだちのクリニックむすびめ 院 長 田 中 康 雄

(2) 課題別研究協議会

第5課題 「歯・口の健康づくり」研究発表者

①秋田県秋田市立明德小学校

養護教諭 米 川 尚 子

②沖縄県立宮古特別支援学校

養護教諭 金 城 香 澄

③北海道羅臼町立春松中学校

養護教諭 高 田 真 弓

○ 講師

明海大学 学 長 安 井 利 一

○ 講演 「生涯にわたる健康管理の基礎となる歯・口の健康づくりの進め方」

○ 指導助言者（コーディネーター）

東京都教育庁地域支援部義務教育課  
歯科保健担当課長 三ツ木 浩

## 第66回 全国学校歯科医協議会

日 時 平成28年10月27日（木）午後4時～

場 所 京王プラザホテル札幌

開 会 式 文部科学大臣表彰者紹介 / 協議会

特別講演会

講演Ⅰ 「学校歯科保健の魅力 ～ これからの学校歯科医 ～」

日本学校歯科医会会長 丸 山 進一郎

講演Ⅱ 「最近増加している小児口腔の問題点と小児歯科臨床」

北海道医療大学歯学部教授 齊 藤 正 人

※日本学校歯科医会 丸山会長が生涯研修制度の見直しや、生活習慣病への取り組み、口腔機能の健全育成、学校歯科検診項目などを詳細に解説されました。この同じ講演は、1月22日(日) 大阪府歯科医師会館大ホールにて大阪府歯科医師会の会員対象に講演されました。

常務理事 羽生 卓也

当大会は平成28年10月27日（木）と28日（金）の両日に亘って、木の葉色づく北海道札幌市の札幌コンベンションセンターで開催されました。大会のテーマは「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進～生涯にわたり、自ら心身の健康を育み、安全を確保できる子供の育成～」。

その趣旨は「近年の社会や生活の急激な環境変化は、子どもの心身の健康に大きな影響を与えており、学校生活でも生活習慣の乱れ、いじめ等のメンタルヘルスに関する課題やアレルギー疾患、飲酒・喫煙・薬物乱用等を始めとした現代的健康課題、登下校中の事故・事件、児童虐待への対応、更に大規模災害に対する防災教育など重要な課題が山積している。本大会は多年の研究に基づき、生涯に亘り心豊かにたくましく生きる子どもの育成を目指して、諸課題について研究協議を行い、学校保健・安全の充実発展に資するものである。」というものです。

1日目は全体会として、開会式と学校保健や学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰の後、田中康雄氏（こころとそだちのクリニック「むすびめ」院長）を講師とした「子どもたちの学校生活を護るための校内連携と他職種連携～発達障害、被虐待経験をもつ子どもたちを中心に～」という表題で記念講演が行われました。内容は「学校生活、家庭生活において子どもたちは様々なストレスに晒され、教職員にSOSを発信している。それぞれに対応が必要であるが、なかんずく発達障害や被虐待児症候群があると思われる児童生徒への対応は校内連携のみならず、校外の他職種連携が必要不可欠となる。ここでは、そういった子どもたちの心と行動の特性を紹介し、校内外の連携について検討する。」といったもので、発達障害や被虐待児症候群について個々の事例を挙げ、また先生ご自身の診察上での経験も交えて解説されました。そしてこの課題に対する教育と医療の連携の重要性と困難性について「教育現場が願う子どもの成長と医療が目指す子どもの変化は理念として同じ。そしてゴールも同じ。」としながらも、「この課題に対する教員の余りにも多岐に及ぶ業務」を考えると、「異職種と手を繋ぎ、荒れ野を歩む決意をしなければならぬ連携というものに対して、思いは抱けども、実践するには足がすくんだとしても誰も責めることはできない。」と語られ、その難しさを強調されました。最後に「日々の臨床を通して、他職種者と対話を続け、相互に諦めずに関わり続けることで、折り合いが付けられ、思いやり

が生まれる経験を重ねてきた。そこに連携の意義があるのではないか。」と述べられ、講演を締め括られました。教育も医療も、この対応の難しい現場に於いてはまさに綺麗事では済まされないご苦労や努力、根気が要求されるのかなと思うと、本当に頭の下がる思いが致します。

2日目は10の課題に分かれて開かれる課題別研究協議会が行われましたが、我々学校歯科医は第5課題の「生涯に亘る健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方」に参加しました。この小さな協議会の目的は「生涯に亘る健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心を持ち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。」といったもので、まず3人の教員の先生方が各々の研究発表を行い、それについて指導助言者が講評を述べ、最後にこの分野の権威たる講師が、同テーマについて講義を行うという構成になっています。

私見ですが、こういった学校歯科保健の学会に参加して研究発表を拝聴すると、教員や学校歯科医の先生方が児童生徒の口腔衛生に対するモチベーションの向上と維持にいかにか腐心しておられるかがよくわかります。また、発表される先生方も、何度も学会参加によって触れた、先達の優れた発表内容を参考に保健計画を立案されることも多いのではないのでしょうか。時に似かよった内容の発表があっても、オリジナルが一緒なので無理もないと思います。ただ、似てはいますが大抵は自校に合うように上手くアレンジしておられます。

3人の教員の先生方は、その発表の中でいずれも自校の特色を活かした歯科保健指導により、それぞれ「むし歯本数の減少」、「歯・口の健康に対する関心度の向上」、「フッ化物洗口に於ける参加率100%」といった成果が上がったことを報告されました。

発表に対する指導講評では、それぞれの学校の歯科保健活動での成果に触れ、賞賛すると同時に更なる成果の拡大を求めて提言を行ったり、課題を指摘する場面もありました。

講義では明海大学・学長の安井利一先生が「生涯に亘る健康管理の基礎となる歯・口の健康づくりの進め方～自分の健康管理能力を身に付ける歯と口の健康教育の推進～」と題してお話しされました。その骨子は次の通りです。

「平成27年の文科省学校保健統計調査結

果によると、むし歯については減少傾向が明確で、国際比較等でも用いられている12歳児の一人平均むし歯数についても、平成27年度で一人平均0.9本と1本を下回る結果になった。一方、歯肉状態については厚生省が6年毎に実施している歯科疾患実態調査の結果では大きな変化はない。この傾向は過去20年程続いており、文科省は平成23年3月に学校歯科保健参考資料『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』を改訂した。改訂版では歯周病に加えて、咀嚼等の口腔機能の未発達や食育への対応、子どもの生活環境や食生活の改善への対応として家庭や地域社会との連携への認識等が強調されている。更に歯・口の健康づくりは①可視性のある学習材としての利便性。②歯みがきや間食の摂り方等、生活習慣確立とのかかわり。③課題の解決が自分自身の改善に分り易く繋がる。④子どもたちの自律的かつ自立的な健康管理を育む。という以上4つの理由から「健康」とい

う概念を理解するための最適な教育の一分野として学校保健教育の中でも重要視されている。

また近年、社会問題化しているメタボリックシンドローム等の成人病の予防の為に、歯・口の健康づくりを通じて学齢期における「確かな健康観の育成」と「自律的な健康行動の育成」が必要であり、ここに学校保健の意義がある。

このように大切なことは歯・口の健康づくりを、それによって健康になることが目標ではなく、あくまでも自己実現の為の手段として認識して頂きたいということ。そしてその最終的な目標は、しっかりしたリーダーシップのとれる人間づくりなのである。」

以上で2日間に亘って開かれた当大会は終了しました。この時期の札幌の最高気温は8℃。大阪ならば真冬の寒さですが、大会会場は全国から参加された学校歯科保健関係者で溢れ、熱気に包まれていました。

## 第66回 全国学校歯科医協議会に参加して

常務理事 羽生 卓也

平成28年10月27日（木）、午後4時から京王プラザホテル札幌に於いて当協議会は開かれました。同日に催された平成28年度全国学校保健・安全研究大会の1日目の部の終了後、場所を移しての開催となります。挨拶、来賓祝辞等に続いて特別講演として二人の先生の講演を聴講しました。

最初の講演は「学校歯科保健の魅力～これからの学校歯科医～」と題して、日本学校歯科医会会長の丸山進一郎先生がお話されました。先生は昨年度の文科省学校保健統計で一人平均むし歯本数が0.9本に減少したものの、歯肉炎の割合が増加傾向にあることを指摘され、子どもたちの生活時間の深夜化や環境から受けるストレスがその背景にあるのではないかと心配されていました。また、生活習慣や育児環境の変化による口呼吸の問題や咀嚼、嚥下、発音等のいわゆる口腔機能の健全な発達の阻害についても触れ、食育に関しては学校歯科医の立場から提言を行うこともできるのではと意欲的に語っておられました。

次の講演は北海道医療大学歯学部・小児歯科学分野教授の齊藤正人先生が「最近増加している小児口腔の問題点と小児歯科臨床」についてお話されました。その要点は次の通りです。

「近年、小児のむし歯は著しく減少しているが、地域間や個人間のむし歯数における格差や中高生に対する歯科保健活動等の課題（高校生のむし歯は全く減っていない）、また、むし歯以外にも注意すべき問題点も多々あるのが実情である。また、む

し歯減少の原因として挙げられるのが少子化である。子どもの数が少ないと、それだけ保護者の目が行き届き、むし歯の予防に繋がっていると考えられる。同時に、歯の色調異常や形態異常・歯並び・口臭・顎関節異常など少子化ゆえの小児の健康や容姿に対する保護者の関心の高まりによって結果的に様々な口腔の問題点が顕在化し、以前より相談が増えている。以下、保護者の関心が高く、発生件数が多い小児口腔の問題点について概説する。

### ①「歯の色調」

Black Stainは歯石と全く同じ構造だが原因菌が歯周病原性細菌の一種なので長期的管理が必要。エナメル質形成不全は原因不明だが、フッ化物塗布やMIペースト等で再石灰化を促す。

### ②「外傷」

以前と比べて運動能力が低下している子どもが多い。小児の歯の外傷は全国的に増加傾向にある。幼若永久歯の外傷による歯内療法にはMTA応用が有効。

### ③「発達障害」

自閉症、アスペルガー症候群、その他広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害を総称して発達障害と呼ぶ。発達障害患者は増加傾向。特徴としては音や口腔周囲の触覚に対する感覚が敏感。服薬状況を把握し、浸麻薬の選定に注意。笑気は有効。

次年度の全国学校歯科医協議会は三重県で平成29年11月16日に開催される予定です。

# 第80回 全国学校歯科保健研究大会

主催 文部科学省・日本学校歯科医会・日本学校保健会・東京都教育委員会・東京都学校歯科医会  
 期日 平成28年11月16日（水）・17日（木）  
 場所 文京シビックホール  
 主題 「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して  
 日程



## (1日目)

開会式・表彰式 13:00～14:00

※全日本優良校表彰で大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校が文部科学大臣表彰を受賞しました。

※第80回全国学校歯科保健研究大会記念として、日野完夫先生、曾我時雄先生、藤野康德先生の3名が文部科学大臣表彰を受賞されました。

ポスター発表 13:00～17:30

※大阪市教育委員会が「児童・生徒の経年的な健康教育を目指して」の演題で6年生の歯・口健康教室の歯・口の健康度チェックから見える児童の実態をポスター発表しました。

記念講演 14:15～15:15

演題 国際社会で生き抜く力

講師：ジャーナリスト 池上 彰

シンポジウム 15:30～17:30

「学校歯科保健活動の過去・現在・未来」

～学校歯科保健を取り巻く課題解決へのストラテジー～

座長	東京医科歯科大学	名誉教授	黒田 敬之
基調講演	明海大学	学長	安井 利一
シンポジスト	元福岡県春日市立須玖小学校	養護教諭	田中 さえ子
シンポジスト	日本学校歯科医会	常務理事	竹内 純子

懇親会 18:30～

## (2日目)

### I. 領域別研究協議会

#### 1. 保育所(園)・幼稚園部会

座長  
研究発表

神奈川歯科大学 小児歯科分野 教授 木本 茂成  
 東京都府中市立小柳幼稚園  
 大阪市立東小橋幼稚園

※大阪市立東小橋幼稚園養護教諭小中みづほ先生が研究発表をされました。

#### 2. 小学校部会

座長  
研究発表

鶴見大学歯学部 小児歯科講座 教授 朝田 芳信  
 東京都台東区立東浅草小学校  
 埼玉県羽生市立羽生南小学校

#### 3. 中学校部会

座長  
研究発表

日本大学歯学部 学長 前野 正夫  
 東京都町田市立小山田中学校  
 岩手県一関市立大東中学校

#### 4. 高等学校部会

座長  
研究発表

日本歯科大学生命歯学部 衛生学講座 教授 福田 雅臣  
 東京都立赤羽商業高等学校  
 千葉県立流山おおたかの森高等学校

#### 5. 特別支援教育部会

座長  
研究発表

昭和大学歯学部 口腔衛生学講座 教授 弘中 祥司  
 東京都立府中けやきの森学園  
 沖縄県立宮古特別支援学校

### II. 領域別研究協議会報告

### III. 閉会式

# 第80回 全国学校歯科保健研究大会に参加して

常務理事 川上 力

第80回全国学校歯科保健研究大会は平成28年11月16日、17日の両日東京都文京区の文京シビックホールで開催された。

## 開催目的

幼児、児童生徒、学生ならびに教職員の健康の保持増進を図るため学校歯科保健に関する調査研究を行うとともに、学校保健の普及及び振興に努め、もってその円滑な実施に寄与すること。

## 主 催

文部科学省

一般社団法人日本学校歯科医会

公益財団法人日本学校保健会

東京都教育委員会

一般社団法人東京都学校歯科医会

## 主 題

「生き抜く力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して

## 副 題

—明るい笑顔で未来をつくる学校歯科保健活動—

## 趣 旨

「健康」とは、WHOによれば「Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely

the absence of disease or infirmity.”と定義されている。これは単に病気ではない、弱っていないという状態を表しているのではなく、肉体も、心も、意志も、そして社会的にも満たされた生物としての動的な状態を意味する言葉と解釈できる。

その中で、笑顔は健康に裏打ちされてこそその動的な表現であり、子どもたちに健康な笑顔をもたらすことは学校歯科保健活動の使命の一つと考える。

記念大会となる本大会では「生きる力」から一步踏み込んだ「生き抜く力」を大テーマの文頭に掲げ、その意味を考察し、急激に様変わりする社会環境の中で未来に向かう子どもたちが、喜びをもって健康な「笑顔」を持ち続けられること、そして、学校歯科保健活動が一般社会により広く認知され、児童生徒の健康保持増進にさらに深く寄与していくことを目指す。

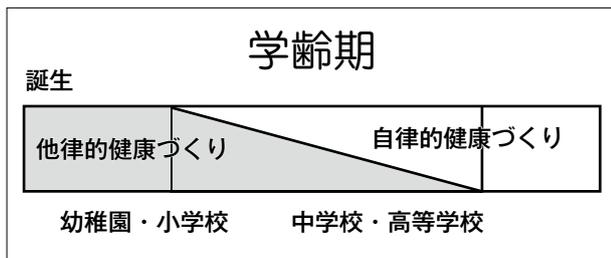
大会記念イベントとして、NHK大河ドラマである「平清盛」の題字を担当された天才書家金澤翔子氏の席上揮毫で幕が開いた。

続いて開会式・表彰式が執り行われ、大阪市学校歯科医会監事の曾我時雄先生が校医を担当されている大阪ビジネスフロンティア高校が文部科学大臣賞を受賞された。また、今回の第80回全国学校歯科保健研究大会記念として、日野完夫先生、曾我時雄先生、藤野康徳先生の3名が文部科学大臣表彰を受賞された。これらの2つの記念

受賞は、大阪市学校歯科医会にとっても感慨深いものである。

記念公演は著名なジャーナリストの池上彰氏が「国際社会で生き抜く力」と題して、主に米国の大統領選挙の知られざる部分を中心に語られた。

特に興味深かった事は明治維新の日本の急速な発展には、例えば当時の英国に比べると日本の識字率の高さにあり、その背景には現在と遜色のない数の寺子屋という教育機関の存在の貢献があったという事実である。近頃の日本は教育にお金を使ってくれない現状がある。子どもたちは未来の宝物である。日本の更なる発展のためには健康、教育にお金をかけるべきと結ばれた。



次にシンポジウムの記念講演では学校保健の重要性から始まった。すなわち人は生まれてからある期間までは保護者のもと健康は作られるが、成人期以降は自分の責任の下で健康は管理していかなければならない。ライフサイクルの中で必ずどこかで自分自身でしなければならない転換点があり、それが学齢期である。ライフステージにおける学校保健の重要性は、乳幼児期の他律的健康づくりから成人期以降の自律的健康づくりへの移行期にあることである。この時期に自律的な健康づくりの知識と技術を習得することが生涯の健康づくりに影響する。子どもは守られるべき対象であることにとどまらず、学校において、その生

涯にわたり、自らの健康をはぐくみ、安全を確保することのできる基礎的な素養を育成していくことが求められる。「歯みがき」のことがしばしば歯科保健では引き合いに出されるが、歯みがきそのものが他律から自律への移行の様子が実践できる重要な家庭教育と言える。「歯みがき」は自分自身の健康を管理してゆく、向上させる一つの指針となっている。

翌17日の領域別研究協議会小学校部会は鶴見大学歯学部小児歯科講座朝田芳信教授の講演で始まった。病気の実態が見えない生活習慣病を理解させるためには、直接的に観察できる歯や口腔は、極めて貴重な資料となり得る。学校健康診断においてはむし歯や歯肉炎だけでなく、歯列・咬合の育成と口腔機能の健全な発達にも目を向けていくことが重要である。1988年の日本小児歯科学会が行った歯の萌出時期に関する調査研究によれば、下顎中切歯が第一大臼歯に比べ早期に萌出する傾向が示唆され、それまでの萌出順序が逆転する形となった。即ち、顎の前方、側方への成長が不足した状態で下顎中切歯が萌出するため、叢生になる可能性が考えられる。また、上顎前突の増加傾向の一因として口呼吸の増加が挙げられる。

研究発表は東京都台東区東浅草小学校のアイデア満載の取り組みが目をつけた。なかでも5年生の「歯リーポッターと秘密の部屋」と名付けられたアトラクション感覚の学習が非常にユニークであった。領域別研究協議会報告の後には、閉会式、大会宣言と続き、最後に次年度開催地青森県の紹介で2日間の幕を下ろした。

# ◀▶ 平成28年度 学校歯科保健連絡協議会 ▶◀

平成28年度の学校歯科連絡協議会は10月6日（木）午後3時からホテルアウイーナ大阪で開催されました。大阪市の学校保健関係者が一同に集まって、大阪市における学校歯科保健事業に関する情報や意見交換がおこなわれる会合ですが、今年はサンスター株式会社とライオン歯科衛生研究所の両社にも参加して頂きました。40名の参加者からは協議会の各項目において保健指導現場の具体的な情報が報告され、学校保健関係者にとっては有意義な会合になったと思われま



日時 平成28年10月6日（木） 午後3時～5時  
 場所 ホテルアウイーナ大阪 4階 金剛（中）  
 出席者 校 園 長 部 会 保 健 主 事 会  
 養 護 教 員 会 大 阪 府 歯 科 衛 生 士 会  
 大 阪 市 教 育 委 員 会 こ ど も 青 少 年 局  
 サ ン ス タ ー 株 式 有 限 公 司 ラ イ オ ン 歯 科 衛 生 研 究 所  
 大 阪 市 学 校 歯 科 医 会

## 日 程

開 会	会 長 挨拶	司 会	専 務 理 事	西 本 達 哉
出 席 者	自 己 紹 介		副 会 長	西 川 卓 肇
協 議	内 容		会 長	岡 本 卓 士
1.	第6回歯・口の健康づくり研修会の開催報告		課 長 代 理	松 元 彰
2.	歯科保健事業について			
	① 幼稚園 歯みがき指導と保護者教室について			
	② 小学校での保健指導について			
	・ 2年生 低学年歯みがき指導			
	・ 4年生 フッ化物塗布と歯みがき指導			
	・ 6年生 歯と口の健康教室			
	③ 中学校 歯・口の健康づくり			
	④ 子どもの歯を守る懇談会について			
	⑤ 鶴見区推進事業進捗状況について			
3.	平成27年度学校歯科検診状況と今年度の学校歯科検診について			
4.	平成29年・30年度「生きる力を育む 歯・口の健康づくり推進事業」実施地区について			
報 告 事 項				
1.	サンスター株式会社からのプレゼン			
	・ フッ化物洗口剤とその応用について			
2.	ライオン歯科衛生研究所からのプレゼン			
	・ 全国小学生歯みがき大会について			
3.	フッ化物洗口 指導者講習会			
4.	第57回大阪市学校歯科保健研究大会予告			
5.	図画・ポスター、標語コンクールについて			
6.	市学歯会員研修会のお知らせ			
閉 会	会 長 挨拶			



# 平成28年度 大阪市学校歯科医会 指導者講習会

今年で3回目を迎える指導者講習会は、日本学校歯科医会常務理事の今井健二先生をお招きして「京都におけるフッ化物洗口」と「学校安全の充実にむけて」の2つの講演をして頂きました。今井先生は「京都のフッ化物洗口」の立ち上げに関わられ、日本学校歯科医会では「生きる力をはぐくむ推進事業」の担当常務理事でもありますので、その2つの事業に対して詳細な情報提供をして頂き大変有意義な講習会になりました。



**日時** 平成28年10月15日 午後3時～4時  
**場所** 大阪府歯科医師会館 第6会議室  
**演題** 1) 京都におけるフッ化物洗口について  
2) 学校歯科保健を通じた学校安全の充実にむけて  
**講師** 日本学校歯科医会 今井健二常務理事  
**参加** 大阪市学校歯科医会 役員・支部長  
**講演内容**

## 1) 京都におけるフッ化物洗口について

- ①京都市における学校歯科保健の取り組み
- ②フッ化物によるむし歯予防のメカニズムや予防法の種類
- ③フッ化物洗口の実施に向けて
  - ・フッ化物洗口とは
  - ・なぜフッ化物洗口が学校で必要か
  - ・フッ化物洗口を学校で行うメリット
  - ・学校歯科医の役目
- ④フッ化物洗口の実施方法
  - ・フッ化物洗口に必要な薬剤・器具
  - ・学校歯科医が学校に出すフッ化物洗口の指示書
  - ・フッ化物洗口の管理の流れ
- ⑤保護者に対する希望調査書など保護者対策
- ⑥フッ化物洗口と保健教育

## 2) 学校歯科保健を通じた学校安全の充実にむけて

- ①どのような状況で歯・口の怪我が発生するか
- ②学校安全の目的・領域・構造
- ③学校安全への学校歯科保健からの取り組み
  - ・学校種別に対応した段階的な安全教育
  - ・事故発生時のリスクマネジメントの確立
  - ・歯や口の外傷対応フローチャートの作成
  - ・学校、家庭、学校歯科医、かかりつけ歯科医を含む歯科医療機関の連携
  - ・口腔外傷予防の安全教育への導入と題材の選択
- ④学校安全とスポーツに対する日本学校歯科医会の取り組み
  - ・生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業
  - ・歯と口の外傷予防と安全教育の推進に関するモデル事業
  - ・生徒保健委員会による外傷予防の取り組み

大阪市では4年生のフッ化物塗布を40年間継続して実施しておりますが、全国のフッ化物によるむし歯予防はフッ化物洗口が主流になってきているようです。費用面やむし歯予防効果だけを考慮すると大阪市もフッ化物洗口に切り替えを検討する時期に来ていると思われませんが、その実現のためには数多くの関門を乗り越えなければなりません。今回の今井健二常務理事の講演内容がその出発点になればと思っています。

## 「子どもの歯を守る懇談会」の講師を担当して **座 談 会**

【日 時】平成28年12月1日(木) 午後7時～

【場 所】大阪市学校歯科医会 分室

【参加者】岡本 卓士・長崎 三男・西本 達哉  
林 昭典・川上 力・上田 裕彦  
柳田 和彦・長谷川 昌徳

【聞き手】美島 達平（広報部長）

【内 容】

1. 今年の「子どもの歯を守る懇談会」の講演内容について
2. 実施までの学校との打ち合わせ内容
3. 講演までの準備や段取り
4. 「子どもの歯を守る懇談会」の今後の展開について



**美島：**ただいまから3回目の座談会を始めたいと思います。本年も6月から始まった「子どもの歯を守る懇談会」ですが、例年になく参加校が多くて9校も申し込みがありました。現在8校が終わって、後は長崎先生の清江小学校を残すだけになりましたが、今年講師を担当された8名の先生に集まって頂いて、講師を担当された学校での「子どもの歯を守る懇談会」の講演の様子をお聞きしたいと思います。



**岡本：**この「子どもの歯を守る懇談会」は5月頃に大阪市教育委員会から申込書が大阪市の全校に送付されて、講演などを希望される学校は7月の締め切りで申し込みます。市教委から申し込みのあった学校が市学歯へ通知されてきますので、市学歯の理事を派遣して講話などを行うという事業です。

**美島：**この事業はずいぶん歴史のある事業のようですね。

**岡本：**昭和44年に歯の衛生週間に母親教室として実施されたのが最初です。その後、正式に発足したのが昭和47年ですから、50年近く続いていますので、市学歯の中でも最も歴史のある事業です。昭和の時代は幼稚園の母親教室も一緒でしたので、1年間に30～40校も実施されていましたが、平成4年に分離されてからは、6月の幼稚園の母親教室以外が対象になったようです。

**美島：**30校から40校も数多くの学校では誰が講師をされていたのですか。

**岡本：**今と同じように理事が担当されて、全員の理事が2～3校も掛け持ちをされたようです。中には1人で数校も担当されて大変だったようです。分離された幼稚園の保護者教室も理事が担当していましたが、これは平成16年頃から幼稚園の園医に自分の幼稚園で講師を担当してもらう事になりました。

**長崎：**12年前に開催して私も講師を担当した「幼稚園保護者教室説明会」はその対策だったのですね。園医の先生方に第6会議室に集まってもらって開催しましたね。

**岡本：**その時には、大阪歯科大学の小児歯科学講座の大東教授が榎本幼稚園の園医をされていたので参加されました。歯科大学の現役の教授の前で歯の講演をするのはめちゃくちゃ緊張しましたね（笑）それで、幼稚園は園医にお任せして、それ以外の「子どもの歯を守る懇談会」は誰が担当するかとなったのですが、これだけは、理事が人前で講演をする勉強の場にして研鑽を積もうという事で、この理事派遣という形式は残りました。

**美島：**今年は9校も実施されましたが、開催校数の少ない年度もあったようですね。

**岡本：**平成20年と平成21年は幼稚園の1園のみで、22年も2校園しか無く風前の灯の状態でした。「これではだめだ」という事で応募できる学校を高等学校まで増

やして、講演形式を増やしたり、講演内容も8つの講話の項目から複数選択できるように申し込み書を変更しました。そうすると、平成23年には一気に7校園が増えて、高等学校も3校が申し込んでくれました。

**美島：**講演形式はやはり母親教室を引き継いだ保護者教室が多いようですね。

**岡本：**この2～3年は、PTA対象の保護者教室よりも生徒も一緒に聞ける講演会や、学校関係者対象の学校保健委員会の形式が増えてきました。大阪市は学校保健委員会の充実を提唱していますので、学校が申し込む時にこの形式を望んでいるように思います。今年は保護者教室が川上先生の今里幼稚園だけで、他は生徒対象の講演会や学校保健委員会になったようですね。

**美島：**では、その唯一保護者教室をされた川上先生、今里幼稚園で講演された様子をお願いします。

**川上：**6月9日に今里幼稚園に行ってきました。岡本会長から講演を依頼されて実施日まで1か月も無かったので、準備不足があったと思います。懇談会の2週間前に会場の下見や点検に行きましたが、園長や養護教諭の先生に丁寧に対応して頂きました。希望項目は4つもあったのですが、それぞれを「生活習慣の重要性」と「噛むことの大切さ」にリンクさせるようにしました。噛むことの大切さは日本人の顎の状態の移り変わりを説明して、肉食動物や草食動物の顎の違いを解説しました。

**美島：**保護者教室ですからお母さんが多かったですか。

**川上：**ほとんどが母親でした。同じ講演を地元でもしたのですが、スライドへのリアクションが違いましたね。次は砂糖の恐ろしさですが、某チェーン展開しているコーヒーの砂糖は小さじで25杯分入っているとか、後、砂糖が多いのはヤクルトですね。生活習慣は、現在社会では、食材に対して食べられることが当たり前の様に思われがちだが、感謝する気持ちを伝えたつもりですが、どう感じて頂けたかは分かりません。練習不足や加齢による筋肉の衰えで活舌も悪く、欠点ばかりが露呈したのではと反省しています。

**美島：**次は6月24日に大正東中学へ行かれた柳田先生、お願いします。

**柳田：**演題は「むし歯と歯周病、ブラッシングについて」で、私がパワーポイントスライドを用いて、むし歯と歯周病についての説明をして、その後歯科衛生士がスライドを使ってブラッシング指導を説明しました。次に、サンスタープロジェクトの「ブラッシングを科学する」の動画を上映しました。自分が担当している中学校でも同じ内容で講演をしましたが、反応が全然違いましたね。



**岡本：**この中学は2年前に初めて講演に行かれて、今年も申し込みがあったので、3年連続で柳田先生に行ってもらったのです。

**柳田：**中学1年生対象で200名くらいだったのですが、クイズ形式が良いと言われるのですが、それは止めてスライドで説明に徹しました。大正東中学では受講態度も良く、受けが良かったですね。でも、自分の担当校では「少し内容が難しい」と言われました。生徒の集中力が20分持たないので、もっと簡単にしてほしいと言われました。(笑い)それで、最初に「5問クイズを出します」と言ってクイズを解くようにしてから話をしました。

**美島：**地域格差があるようですね、3年連続でされて、来年もどうですか。

**柳田：**学校は大変協力的で、養護教諭からもまた来年も来て下さいと言われました。講話途中に土砂降りの雨になって、話が聞こえなくなったので中断しました。すぐに雨足がマシになって再開できて良かったです。

**美島：**柳田先生には4年連続になりますが、来年もよろしくお願いします。次は、7月20日に瓜破西中学校へ行かれた上田先生お願いします。

**上田：**定期健康診断でCの判定があった生徒を対象に講演を行いました。1学期の終業式の当日、帰りかけている子どもたちを集めたので嫌々参加したと思うのですが(笑い)、それでも120名いましたので教室も満タンになりました。最初、保健委員から歯科検診の結果を受けてCの判定が多かったことや受診率が低いことが報告されました。市学歯のパワーポイントスライドとビデオを使ってプラークコントロールの重要性を話しました。明日から夏休みに入るので、歯科治療を受けて健康を取り戻すことと、自らの食生活と生活習慣



を見つめ直す良い機会であると講演しました。

**美島**：生徒たちの反応はどうでしたか。

**上田**：朝食を摂っているか、朝食後に歯みがきをしているかと質問したところ、ほとんどの生徒が手を挙げるんですね。一応の事をしている子どもたちの受診率を上げるには個別の指導が必要かなと感じました。

**美島**：学校の協力はどうでしたか。

**上田**：学校歯科医の砂田先生も参加して下さりましたし、養護教諭の先生をはじめ先生方から協力いただきました。保健委員からの検診結果の発表を提案したところ快く引き受けてくれましたし、次年度も講演を依頼したいと申し出がありました。

**美島**：上田先生も来年も講師をよろしくお願いします。では岡本先生に五条小学校の報告をお願いします。

**岡本**：五条小学校へ西本先生と行ってきま



しました。五条小学校は私の母校でして、以前から天王寺区の支部長でもある西本先生に「一度母校で講演をやらせてくれ」とお願いしていたのですが、校医が森下先生になってからとんとん拍子に話が進んで実現しました。最初、保健委員の20名がスライドを1枚ずつ説明しながら、五条小学校の現状やむし歯の原因とおやつとの関係などの発表をしてくれました。次に西本先生が4名の保健委員の歯みがき圧を測定して「適正な歯みがき圧でない」と歯垢が取れませんよ」と説明してくれました。次に校医の森下先生が自分の歯垢を採取して位相差顕微鏡で映してくれました。

**西本**：元気に動き回る細菌が綺麗に出てきて十分に説明できましたね。

**岡本**：次に私の講演になったのですが、最初にいきなり未だに覚えていた校歌を歌いましてね。

**西本**：それがなぜか1番の歌詞でなく2番の校歌だった。(笑い)

**長崎**：卒業して50年もたったのによう校歌を覚えてはりましたね。

**岡本**：歌い終わると万雷の拍手をもらって感激しました。参加した5年生と6年生の250名の児童たちも「この人は本当に自分たちの先輩だ」と実感してくれて「ちゃんと話を聞こう」という気持ちになって静か

に私の講演を聞いてくれたように思います。講演をする時にはこの最初の「ツカミ」が大事だと思います。最後に、図画ポスターコンクールで小学校高学年の最優秀作品の長野君に起立してもらって彼の作品を映すと、これも万雷の拍手で祝ってもらえて良かったと思います。

**美島**：では、10月14日に東高等学校に行かれた林先生、お願いします。

**林**：8月の始業式の時に保健委員を集めて打合せを兼ねて、実習をどのようにするか実習器具の使い方の練習をしました。

**岡本**：それは8月18日に開催した養護教諭対象のテーブルクリニックの実習ですか。

**林**：あの中での体験学習からAグループはむし歯予防を、Bグループは唾液と咀嚼を、Cグループは口唇圧測定、細菌観察、経口補水液をしました。

**岡本**：2週間前にしたばかりの体験実習の練習をするのは大変だったでしょう。

**林**：本番当日は、1年・2年・3年から希



望者を募って40名の生徒が参加してくれて、4グループに分かれて各テーブルを回る体験学習でした。2部構成で第一部は初めて開催される学校保健委員会で、学校関係者が60名も集まって、意見交換や校医の野井先生がスライドで歯周病の話をされました。

**長崎**：昔の子どもの歯を守る懇談会に比べると盛りだくさんになりましたね。生徒の受けはどうでしたか。

**林**：東高校はSSHというスーパーサイエンスハイスクールの指定校でしたので、これでもレベルは低いかなと思いました。

**美島**：では、初めて子どもの歯を守る懇談会の講師を務める長谷川先生、築港中学校の報告をお願いします。

**長谷川**：最初は歯肉炎と食育という希望



だったので、柳田先生にももらったスライドを自分の中学校でも講演に使ったのですが、そのスライドでむし歯や歯周病の成り立ちやタバコの悪影響の話をしました。食育はうちの歯科衛生士が食育の勉強会に入っているのものでそれを担当してしゃべりました。その時、個食は良くないと

言ったのですが、母子家庭の子どもがいたら拙かったかな～と思いました。生徒たちは進路指導の後だったので疲れていたのに、礼儀正しく最後までしっかり聞いてくれました。最初45分の予定だったのですが、30分でしてくれという事だったので、最初予定していたクイズもすぐにこちらで回答しました。残りの15分は生徒が作成した動画を上映しました。

**美島：**生徒の自主製作ですか。どんな動画でした。

**長谷川：**講演後に一緒に見たのですが、保健委員が「歯肉炎、8020運動」という題名で作成した動画で、生徒たちが出演して歯肉炎、歯周病の悪影響を物語調でしゃべるんですが、それが大阪弁でね（笑）、完成度は高かったです。

**全員：**これは、見たいですね！！

**美島：**何とかその作品は取り寄せたいですね。次は上田先生が2校目に担当された中央高校の報告をお願いします。

**上田：**中央高校は去年も行ったので2回目です。タバコを吸う自分がしゃべるのも何ですが、タバコの弊害の話をしてきました。（笑）う蝕と歯周病については市学歯のスライドを枚数を絞って解説し、ブラッシングのビデオも前半だけ上映して生徒たちの印象に残るように分かりやすい講演に努めました。去年はスライドを始めるとあちらこちらで蛍が光るんです。（笑）スマホの光でしてね。去年そういう事があったので、保健主事の先生が「スマホを鞆にしまおうように」と強く指導してくれましたし、生徒たちも輪になって座っている子どもたちもいましたが、昨年よりは熱心に受講してくれたように思います。思春期の生徒も多いので生活習慣を変えないと引きずるよと言ってきました。

**岡本：**その同じ日の夜に校医の柴田先生が夜間の生徒を対象に講演されたようですね。

**上田：**夜間部の生徒は10名弱ですが、かみかみセンサーを借りて噛む回数の実習をされて食生活の講演をされたようです。

**美島：**では、上田先生と同じく2校目の北粉浜小学校を担当された柳田先生報告をお願いします。

**柳田：**中学校では難しいと言われたし、小学校なので話を変えようと思って、このすぐできる！楽しくできる！「歯・口の健康づくり」の書籍に付録されていた教材を使用しました。最初に「歯の生えかわり」など

の5問のクイズを出して、むし歯の原因と予防について、その教材についていたパワーポイントスライドを使って説明しました。参加したのは4年・5年・6年の給食委員と健康委員の42名が代表して聞いてくれて、熱心に講話を聞いてくれました。あらかじめ歯ブラシ、コップ、牛乳パックを用意していたので、全員で歯ブラシの練習ができました。歯科衛生士の歯みがき指導は5倍大の顎模型を使用しました

**岡本：**以前には歯みがきじょーずくんの人形を貸し出しして使われましたが。

**柳田：**2～3千円だったので自分で購入しました。質問コーナーでは質問が出なくて、時間が余ったので8020運動の話を追加しました。

**美島：**小学校では中学校と話し方とか変えますか。

**柳田：**特に変えていません。私は支援学校も担当しているのですが、小と中・高と2回に分けて講演をしています。支援学校の小学校の部を今回しました。

**上田：**私も中学校と高校では同じレベルでしゃべっています。

**美島：**次に、長崎先生の担当の清江小学校は12月8日でまだなんですが、講演の準備はどうですか。

**長崎：**今日、養護教諭と打合せをしました。学校保健委員会が開催されるのですが、その中で養護教諭が生徒にあいうべ体操をさせているパワーポイントのスライドも用意しているようです。30分の予定なのですが、位相差顕微鏡をしてくださと言われてましてね。夏休みの養護教員の研修会に参加して良かったので是非したいと言われてました。



**岡本：**小学校の養護教諭の先生方はあの研修会に初めて参加されて、細菌の動き回る様子を見てインパクトがあったようですね。

**長崎：**「位相差顕微鏡をすると残り15分間しかお話しができませんよ」と言ったのですが、それでも是非という事でしたので、校医の先生と学校内科医の先生と担任の先生と女子と男子から1名ずつの5名の歯垢を採取して、混ぜて細菌観察をしようと思っています。診療所の歯科衛生士が担当校でいつも位相差顕微鏡を使ってやってくれるので、今度の小学校でもしてもらおう予定です。

**美島：**これで全員の先生に報告をしてもらいましたが、実施までに学校との打合せや準備で何かされた先生はおられませんか。

**岡本：**五条小学校は養護教諭が診療所まで来てくれて打合せをしました。保健委員が発表するスライドを見せてくれたので、自分が上映するスライドが被らないようにして、発表内容の指導講評をできるように編集し直しました。また、養護教諭だけには「いきなり校歌を歌うかもしれない」と予告して、図画ポスターに入賞した長野君にも「皆の前で披露するからね」と伝えるようお願いしました。

**長崎：**長谷川先生、今回初めて担当されて関わりの無い学校へ行かれて、人前でしゃべるのはどうでした。

**長谷川：**失敗しても、知らない人ばかりなので、思いきってしゃべることができました。

**柳田：**講話や講演をしている時は聞いていないこともあるが、クイズ形式にすると受けが良いですね。話し方もざっくばらんに子どもと同じ目線でしゃべると良いみたいですね。学校は最初にこの「子どもの歯を守る懇談会」を校医にしてくださいとは言わないのですか。

**岡本：**これは理事が派遣されて講演をするという事業ですから、それは無いと思います。でも、校医には実施することを通知して当日は参加してほしいですね。今年は9校のうち5校は参加してくれました。校医が講演の前にする実習を手伝ってもらうと大変有難いです。

**美島：**でも、今回講演した事は「来年は校医でしてくださいよ」と言いたいですね。

**岡本：**スライドは学校のパソコンに移し替えましたので、それを使ってやろうと思えばできます。

**美島：**では、最後に、これからの抱負とか、今後の展開について何かありませんか。

**長谷川：**今回この話を受けて私よりもスタッフの方がやる気になってくれました。歯科衛生士のモチベーションがアップしたように思います。私より歯科衛生士の方が話がうまいし。(笑い)

**上田：**そろそろ今使っているスライドを刷新したいですね。

**林：**平成20年に制作してもう8年も経ちましたから、学術部で作らないとだめですね。

**上田：**それと最初のツカミの子どもたちが興味を引くクイズを考えて下さい。今のクイズはすぐに答えが分かってしまうので。

**川上：**ツカミは難しいですね。

**林：**歯みがき圧とかりっぷるくんとか道具で遊ばすという感じですかね。私の所では校長や養護教諭や興味を持った先生らも生徒と一緒に測定していました。

**西本：**私の小学校では2年・4年・6年の保健指導に行った時は、授業が始まる前にクイズを出題しています。全国大会のシンポジウムでも言ってましたが、小学生の間に歯みがきをちゃんとするとか生活習慣の確立を目指すのが目的ですよ。健康は歯からというのをやってみたいですね。



**岡本：**会員の先生で母校の校医を担当されている先生は在校生対象に一度講話をやってみてほしいですね。校歌は歌わなくても良いので。(笑い)

**川上：**今、マスコミに歯科診療の事で叩かれていますけど、こんな地味な仕事だけれど、学校歯科医はこんなに頑張っていますという記事が出てほしいですね。

**長崎：**でも来年もしてくださいと申し込まれる柳田先生や上田先生は凄いですね。普通は1度申し込むと翌年の申し込みは無いものなのに、ご指名が入るのですから。

**岡本：**平日の午前中に診療を休んで講演に行ってもらうのですから、講師依頼をする仕事は会長として一番辛い仕事です。学校に近い隣の区の理事に依頼するとか、できるだけ近所の理事に行ってもらいますが。依頼を引き受けてくれるのは本当に有り難いです。

**美島：**何校からも申し込まれて校数が増えても、全理事で取り組みましょうよ。皆引き受けてくれると思いますよ。

**岡本：**講演を担当するのが誰もいない時は、理事が行くのが最後の砦なので来年もよろしくお願いします。今日は素晴らしい話を聞かせて頂き有難うございました。(拍手)

## 新支部長就任挨拶

今年度より、大阪市学校歯科医会中央区・東支部長に就任させていただきます。

近年めまぐるしく、社会、学校、経済が変わってきています。相変わらず不安なニュースが連日流れています。

少子高齢化の急速な進展が現実のものとなってきました。

学校歯科医としては、生徒たちの口腔衛生、心身発達に貢献していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

柴田 啓子  
(中央区・東支部)



この度、大阪市学校歯科医会中央区・南支部長の任に着くことになりました。

中央区・南支部は、幼小中高あわせて8校園しかありません。

これ以上の統廃合は無いかと思われませんが、この先の少子化と公立離れ次第では、どうなることが分かりません。

私自身は、2011年より南高校の学校歯科医となり、歯科検診の難しさを考えさせられているところです。視力、体力、知力すべてに衰えの見える身ですので、任期中何事もなく先輩諸兄の邪魔にならないようにとだけ念頭において支部長の任にあたる所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

田嶋 光  
(中央区・南支部)



# 大阪ビジネスフロンティア高等学校

## 文部科学大臣表彰受賞

大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校は、平成24年4月、東商業高校、市岡商業高校、天王寺商業高校というそれぞれが100年の伝統と歴史を持つ3校が一つの学校に統合されて開校した新しいタイプのビジネスの高等学校です。生徒数は909名、23クラスで女子生徒が7割以上を占めています。大学や企業と連携して、高大7年間を見据えた教育が特徴です。優秀賞候補校に係った時に、日本学校歯科医会から2名の理事による実地調査が行われました。その審査に合格したことにより栄えある文部科学大臣表彰を受賞することができました。

### 1. 日本学校歯科保健優良校表彰 優秀賞候補校にかかる実地調査

- ①実施日 平成28年9月13日（火）午前8時～11時
- ②来校者 審査員 日本学校歯科医会から橋本雅範常務理事 土田雅久理事  
大阪市教育委員会 4名 大阪市学校歯科医会 4名  
学校関係者 7名
- ③日 程 ・8時から閉門の8時30分まで登校風景の観察  
・会議室にて自己紹介、日程説明  
・保健室前等掲示物見学、教頭先生による学校施設案内  
・教頭先生による学校紹介のプレゼンテーション  
・養護教諭による本校の歯・口の健康づくりについてのプレゼンテーション  
・日本学校歯科医会の理事による指導講評

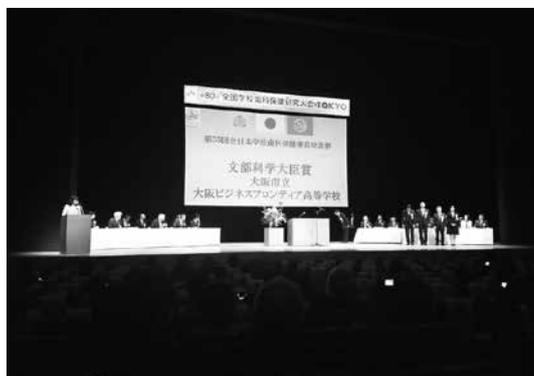
### 2. 学校歯科保健活動の紹介

歯科保健活動の時間確保が難しいために歯科検診時に生徒が見て体験して学習できるように工夫されている。検診前に生徒自身が鏡を使って口腔の観察を行った後に、検診に臨む。検診が終わると、その横で手鏡でC O・G Oの場所を確認させ、自分の口腔内を認識させ、養護教諭が個別の保健指導を行う。特に気になる生徒に対しては学校歯科医が保健指導を行う。待ち時間には量りを使い歯みがき圧測定の体験や歯科展示物を見るなど自主的に歯科保健に関する学習を行う。生徒はかわいいものや音の出るものや、おみくじ的なものが大好きで、楽しみながら情報を得て学習している。学校歯科医は検診を6日間に分けて行い、フォロー検診や保健指導も合わせると年間21回学校に執務し、また、養護教諭も2人制できめの細かい保健指導が実施されている。そのためDMFT指数も学校全体で0.87という非常に良い数値で受診率も91.2%という高い数値に繋がっている。



### 3. 文部科学大臣表彰の表彰式

10月16日に東京のシビックホールで開催されました第80回全国学校歯科保健研究大会において、第55回全日本学校歯科保健優良校表彰の高校部門で、澤井宏幸校長に義家弘介文部副大臣により表彰状が授与されました。また、アカデミー文京のポスター会場でポスター展示が行われ、養護教諭の花松亜由先生によるポスター発表が行われました。



## 平成27年度 年間活動報告書の記載内容

返送していただいた年間活動報告書には 会員の皆さまから日頃の学校歯科保健の活動状況やご意見・ご要望を書きいただきました。その一部を校種別にご紹介いたします。会員の先生方からのご要望は大阪市教育委員会との会合で打合せの上、実現を図りたいと思います。

### 【幼稚園】

1. 年長クラスの園児と保護者に歯垢染め出しをして、仕上げみがきを実際にしてもらい仕上げみがきの重要性を保護者に話した。12月に友人で食育に関して各地で講演をしている管理栄養士さんに保護者対象に「食育」の話をしてもらった。

### 【小学校】

1. 大規模校の校医の体力的・時間的負担が小規模校に比べてかなりの格差があると感じます。市学歯、市教委がどのようにお考えでしょうか。
2. 子どもたちが学校へ持って来る歯ブラシがあまりにひどいので歯ブラシを学校へ寄贈しました。
3. 歯みがき指導の出務日を1か月前までに知らせて頂けると有り難いです。
4. 市教委の学校保健委員会の活用についての講演を聞いたが、医科の同委員会の考え方と歯科との考え方の違いに愕然とした思いを抱いた。
5. ミラー2本を使っての検診は慣れていないのでやったことがなく、必ず使うようにと言われても当惑する。指はなるべく口腔内に入れないように努めている。ポスターのイラストでもミラーは1本で検診している。
6. 昼食後の歯みがきができるように設備などの整備をしてください。
7. 学校長に児童保護者向けに講話や健康相談の時間を設定してほしいと申し出ているのですが、学校の行事予定の都合によっていまだ実現されていません。私としては行いたいのですがどうしたら良いでしょうか。
8. 担当校が遠方にあり、交通手段がマイカーかタクシーしかない。担当校を選任するにあたっては地域性を考慮していただきたい。
9. ミラーについては学校と協議し、平成28年度から人数×2が可能になる
10. フッ化物塗布は衛生士学校の実習として5年生に塗布している。
11. 6月4日に全児童対象に歯と口腔の健康週間に当たって15分間の講話をしている。
12. 定期検診時にクラス毎に口腔衛生指導、食生活習慣指導を行い、その後検診を行った
13. 3月3日に当校にて「健康の入り口はお口の中から」という題目で簡単な講話をしました。
14. 歯・口の健康教室ではフロスの使用方法も実際にしてもらった。講話では位相差顕微鏡を使用した。検診は南向きに口を開けるようにして自然光が広く入る部屋を利用している。

### 【中学校】

1. 中学校が消極的で学校行事以外の行事を組み込むことにとても嫌な顔をされます。歯科に関する岡崎好秀先生の書籍を港区学校歯科医会として寄贈しました。
2. 定期的に保健だよりなどにして、歯の大切さについての情報を発信しています。
3. 幼稚園小学校では昼食後にブラッシングを行うのに、中学校ではどうして行わないのか？生徒から疑問の声が上がったのをきっかけに、昼食後のブラッシング、フッ化物洗口を実施するように学校保健委員会で進言している
4. デンタルミラー2本使用が難しいし、2本の用意が出来ていない。2本用意しても光源確保が出来ない。スタンド光源は全く役立たず、生徒の身長差など無い。ヘッドライトも指向性がない。2日出務は他科の検診と重なるので毎年1日を確保するのがやっとである。
5. 春の検診後の個別指導を養護教諭にしてもらっている。指導用歯ブラシを提供。卒業生に「自分の歯は自分で守る」ための道具として「手鏡」を贈与している。



# 平成28年度 慶びに輝く先生方



## 文部科学大臣表彰

日野完夫先生 浪速区 難波元町小学校

曾我時雄先生 天王寺区 大阪ビジネスフロンティア高

藤野康徳先生 淀川区 新北野中学校

## 大阪市市民表彰

西本達哉先生 天王寺区 天王寺小学校

## 永年勤続表彰

宇都宮一生先生 都島区 桜宮高校

伯田浩先生 福島区 玉川小学校

村田準吉先生 中央区 上町中学校

井手成信先生 西区 西高校

坂東慶一先生 城東区 城東小学校

小林太一郎先生 住吉区 我孫子南中学校

島野二郎先生 住吉区 長居小学校

## 日本学校歯科医会会長表彰

井上勝彦先生 中央区 開平小学校

松田毅先生 中央区 玉造小学校

松田隆光先生 中央区 南小学校

寺野弘徳先生 東成区 相生中学校

加藤仁朗先生 東成区 深江小学校

神吉弘文先生 平野区 瓜破北幼稚園

## 古稀の御祝い

江上一郎先生 北区大淀 藤田茂信先生 浪速区

横田順一先生 都島区 齊田稔先生 西淀川区

上野幸男先生 此花区 鹿谷實先生 城東区

小林正三先生 西区 箆方俊雄先生 平野区

## お知らせ

### 1 平成28年度 第57回大阪市学校歯科保健研究大会

平成29年2月16日(木) 午後2時～5時 大阪府歯科医師会館 大ホール

第一部の表彰式のあと、第2部の研究協議会では鶴見区で2年間に亘って実施された「生きる力をはぐくむ推進事業」の研究発表とシンポジウムが開催されます。

### 2 幼稚園保護者教室説明会

平成29年3月11日(土) 午後3時～5時 ホテルアウイーナ大阪 二上の間

幼稚園の園医の先生方を対象に「幼稚園保護者教室」で講師を担当して頂くための講習会を開催します。

### 3 平成28年度臨時総会

平成29年3月30日(木) 午後2時より 本会 第6会議室

# 会務報告

(H28.7.1 ~ H29.1.31)

- 7月2日(土)～3日(日)  
移動理事会 岐阜方面
- 7月14日(木) 広報部会(市学歯 分室)  
7月14日(木) 大阪府学校歯科連合会(府歯 第3会議室)  
7月20日(水) 子どもの歯を守る懇談会(瓜破中学校)  
7月21日(木) 第38回 近畿学校保健連絡協議会(大阪市 ピアザ淡海)  
7月22日(金) 大阪市学校保健会 常任理事・理事会/定時総会(大阪府医師会館)  
7月28日(木) 広報部会(市学歯 分室)  
7月30日(土) 学術部会(リアライブ)
- 8月4日(木) 第5回 理事会(松下ビル)  
8月18日(木) 歯科保健事業打合せ会(府歯 第6会議室)  
8月18日(木) 第6回 歯・口の健康づくり研修会(府歯 大ホール)  
8月21日(日) 学校歯科医生涯研修制度「保健教育」(日歯会館)  
8月27日(土) 第40回 近畿北陸地区学校歯科医連絡協議会(びわ湖大津プリンスホテル)  
9月8日(木) 第6回 理事会(リアライブ)  
9月13日(火) 「第55回 全日本学校歯科保健優良校表彰」優秀賞候補校  
大阪ビジネスフロンティア高等学校 実地審査
- 9月15日(木) 平成28年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールおよび  
歯・口の健康啓発標語コンクール 審査会(大阪市役所)
- 10月6日(木) 平成28年度学校歯科保健連絡協議会(ホテルアウィーナ大阪)  
10月12日(水) 子どもの歯を守る懇談会(五条小学校)  
10月13日(木) 第7回 理事会(松下ビル)  
10月14日(金) 子どもの歯を守る懇談会(東高等学校)  
10月15日(土) 第2回 支部長会(府歯 第6会議室)  
10月15日(土) 指導者講習会(府歯 第6会議室)  
10月21日(金)～11月16日(水)  
歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語展示(中央図書館)
- 10月27日(木)～28日(金)  
平成28年度 全国学校保健安全大会(札幌)
- 10月27日(木) 第66回 全国学校歯科医協議会(札幌)  
11月6日(日) 学校歯科医生涯研修制度 専門研修「保健管理」(日歯会館)  
11月10日(木) 第8回 理事会(府歯 第6会議室)  
11月12日(土) 大阪二学歯連絡協議会(東天紅)  
11月16日(水)～17日(木)  
第80回 全国学校歯科保健研究大会(東京)
- 11月17日(木) 子どもの歯を守る懇談会(中央高校)  
11月24日(木) 大阪市良い歯の学校・幼稚園表彰の審査会(府歯 第6会議室)  
11月25日(金) 子どもの歯を守る懇談会(北粉浜小学校)  
12月1日(木) 子どもの歯を守る懇談会の座談会(市学歯 分室)  
12月3日(土) 会員研修会(大阪歯科大学付属病院)  
12月8日(木) 鶴見区推進事業 推進委員会との打合せ(府歯 第6会議室)  
12月8日(木) 子どもの歯を守る懇談会(清江小学校)  
12月10日(土) 広報部会(市学歯 分室)  
12月15日(木) 第9回 理事会(中之島プラザ)  
12月24日(土) 広報部会(市学歯 分室)  
1月12日(木) 広報部会(市学歯 分室)  
1月19日(木) 広報部会(市学歯 分室)  
1月19日(木) 天王寺区推進事業 説明会(大阪ビジネスフロンティア高等学校)  
1月26日(木) 第10回 理事会 平成29年新年互礼会並びに受賞祝賀会(ホテル日航大阪)

平成 年 月 日

# 学校歯科保健教材器具貸出 申込書

校 園 名 \_\_\_\_\_

学校歯科医名 \_\_\_\_\_

## 1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出の有無	器 材 名	商 品 名	個 数
	位相差顕微鏡	ペ リ オ ス コ ー プ	貸出は1台のみ
	咬 合 力 計	オクルーザルフォースメーター	貸出は1台のみ
		ディスポーザブルキャップ	個
	お口の万歩計	か み か み セ ン サ ー	Sサイズ 台
			Mサイズ 台
	顎 模 型	歯みがきじょーずくん	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	貸出は1台のみ
	糖 度 計	ATAGO ペン糖度・濃度計 PEN-J PEN-1ST	貸出は2台まで
	pH 計	ATAGO DIGITAL pH METER	貸出は1台のみ
	口唇閉鎖力測定器	り っ ぶ る く ん	貸出は1台のみ

## 2. 貸出希望日 ※貸出期間は1週間をお願い致します。

貸出希望 平成 年 月 日～平成 年 月 日 (返却)

## 3. 貸出・返却方法

- ・教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。

FAX : 6774-0488

- ・貸出は市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配いたします。(その際は着払いをお願いします。)
- ・返却は事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

## 4. 注意事項

- ・位相差顕微鏡は備品の中の『取扱説明書』や操作方法を録画したCDファイルを参考にしてください。また、サンプル画像の入ったCDファイルも同封していますので、口腔内細菌の説明にお役立ててください。
- ・咬合力計のディスポーザブルキャップは、測定する児童・生徒の人数分の個数を記入してください。
- ・かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
- ・それぞれの器材の付属品や備品は紛失しないように返却をお願い致します。

## 5. 教材器具貸出器材について

市学歯ホームページの会員専用ページをご覧ください。

## 6. 担当者連絡先

〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加 ☎6772-8362

## 市学歯ホームページ更新情報

- 12月16日 **会員研修会**を更新しました。  
12月3日に開催されました大阪歯科大学口腔衛生学講座の三宅達郎教授の「歯科口腔衛生の最新情報」の講演を紹介しています。
- 11月22日 **大阪二学歯連絡協議会**を更新しました。  
11月12日に開催されました府学歯との情報交換や懇親会の様子を紹介しています。
- 11月18日 **図画ポスター入賞作品**を更新しました。  
10月21日から11月16日まで中央図書館に展示されました図画ポスター入賞作品と標語コンクールの入賞作品を紹介しています。
- 10月27日 **会員研修会（平成28年指導者講習会）**を更新しました。  
10月15日の支部長会後に開催されました「京都におけるフッ化物洗口」の指導者講習会を紹介しています。
- 10月25日 **学校歯科連絡協議会**を更新しました。  
10月6日に開催されました大阪市の学校保健関係者が一同に集まる情報交換会の様子を紹介しています。
- 9月20日 **会員の学校歯科活動報告書**を更新しました。  
平成27年の13名の先生と平成28年の8名の先生の学校歯科保健の活動報告書をアップしました。
- 9月12日 **近畿北陸地区学校歯科医会連絡協議会**を更新しました。  
8月27日に大津市で開催された本協議会の様子を紹介しています。
- 8月24日 **第6回歯・口の健康づくり研修会**を更新しました。  
8月18日に開催されました養護教員対象の体験学習型の研修会の様子を紹介しています。その研修会で紹介しましたスライドや資料は9月12日にアップしています。
- 8月2日 **会報171号**をアップロードしました。  
平成24年に発行した会報163号から平成28年7月に発行した171号まで閲覧することができます。

## 編集後記

昨年10月、第66回全国学校歯科医協議会出席のため北海道へ行った。新千歳空港を降りたら、いたるところに日本ハムファイターズの優勝を祝う言葉、選手の写真が目についた。特に大谷選手はあのイチローにも引けを取らないほどの人気うかがえた。

ところで、今年のプロ野球は意外な結末で幕を閉じたように思う。関西人なら誰もがセリーグは阪神に期待をかけたでしょう。結果は4位でがっかりしたでしょうが、今年こそは糸井の入団でAクラス入りも期待できそうです。

南海時代からのホークスファンである私にとっても、まさかのシーズンでした。ダントツの強さを見せていたホークスが首位転落。まさに青天の霹靂というか現代版「ウサギとカメ」でしょうか。シーズンの終わりにかけて日本ハムの攻勢に2位に後退、ウサギがホークスならカメがファイターズか。油断したわけでもないだろうが、途中ウサギが「大谷」という地獄谷に陥り

脱出できなくなりカメに追い越されたようだ。打っては3番ホームラン22本、投げでは10勝まさに二刀流「あっぱれ」である。昨年の年棒は2億円、今年は2億7千万円、いやはや、投げて打って2億7千万円、庶民の私なんか財産を投げ打(売)っても〇〇円程度。足もとにも及ばない。

ただ、スポーツ選手には必ず引退という2文字が常についてくる。還暦を過ぎた私でも元気に働けることは喜ばしいことであり嬉しい限りである。周囲の人や親に感謝するとともに今年も健康で現役続行でいようと再認識した次第である。

第172号 平成29年1月27日 発行  
発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27

大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会

広報部

電話 大阪 (6772) 8362

人生を味わうために、  
お口の元気をいつまでも。



今日という日を大切に、一日一日をていねいに生きる。  
そんな人々のためにライオンに何ができるか。  
めぐり来る日々の、人の清潔や、健康や、快適や、  
環境を守りつづけるために、何を提供できるか。  
人のからだやくらしが求める、  
希望に満ちた未来を、日本ばかりでなく  
世界にも届けたいと願う、私たちライオンです。

今日を愛する。  
**LION**